

◆私立保育所施設整備助成事業

待機児童を解消するため、新しく私立の保育所を整備するために助成をする経費として1億2664万円。

◎人事案件

教育委員会委員の任期の満了に伴い、引き続き次の方を任命することに同意しました。

なお、任期は、平成22年5月12日から平成26年5月11日までです。

米谷正造（清音柿木）

◎請願・陳情の審査結果
採択したもの

◇重度障害者医療費公費助成制度の改善を求める陳情

◇障害のある子どもの教育環境・条件の改善を求める陳情書

◇「所得税法第56条の廃止」の意見書を国に提出するよう求める陳情書

なお、3月18日にこの3件の陳情書に係る意見書を

可決し、同日付で内閣総理大臣、岡山県知事等関係方面に提出しました。

趣旨採択したもの

◇核兵器の廃絶と恒久平和を求める決議採択を求める陳情書

◇障害者自立支援法に基づく「地域生活支援事業」の利用料軽減を図るために市独自の支援策を求める陳情

継続審査としたもの

◇働く者の低賃金と雇用破壊が深刻な経済不況を招いていることに鑑み、内需と消費拡大の妨げとなつている労働者派遣法の抜本改正を求める請願

◇公契約法・条例を制定し、公契約分野に従事する労働者の賃金・労働条件を保障する適切な条件設定が行われるよう措置することを求める請願

◇後期高齢者医療制度の廃止と高齢者・国民が望む医療制度に関する請願書

◇2010年度の年金引き上げ等に関する請願書

◇75歳以上の高齢者の医療費無料化を国に求める請願書

◇2010年度の年金確保に関する請願

◇子どもの医療費を助成する制度創設を国に求める請願

◇公共下水道への早期接続に関する陳情

不採択としたもの

◇総社市営葬祭場改修に伴う葬儀場設置に関する陳情書

◎新交通システム調査特別委員会設置

平成22年3月2日に議長を除く全議員で新交通システム調査特別委員会（渡邊繁雄委員長、村木理英副委員長）が設置され、さらに詳しく調査するために委員8人による小委員会を設けました。

平成22年4月15日の小委員会では今後、新交通システムの種類としてはデマンドタクシーを中心として進めていき、デマンドタクシー以外のものについてもこれらのメリット、デメリットを調査しながら、より良い方法を研究していくという方向性を決定しました。

編集後記

平成22年度も厳しい財政状況の中スタートしました。議会も今まで以上に財政の監視をし、議会改革を進めて行かなければなりません。

6月議会から一般質問を一问一答方式に変えていくことにより、市民の皆様が分かりやすい議論にしていきます。また、子どもからお年寄りまでが利用しやすい交通システムを考えるために特別委員会を設置し、実現目指して努力して参ります。今回から紙面構成を変え、文字も大きくしました。今後も読みやすく、分かりやすい議会だよりを目指して参ります。

◆編集委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 加藤 保博
- 副委員長 根馬 和子
- 委員 小西 義巳
- 委員 津神謙太郎
- 委員 村木 理英

6月議会から

一般質問

対面式一问一答方式に

市議会では、6月議会の一般質問から対面式による一问一答方式を導入します。

これは、議会改革の一環として、議論を活発化し、市民にも分かりやすく伝えることをねらいに実施するものです。本会議では、議員と市長側が対面して一问ずつ質問し、答えていく方式を繰り返していきます。これにより適切な答弁を引き出すことが可能となり、聞く側にとっても分かりやすい議論となることが期待されています。

当面は試行期間として、議員が一问一答方式と従来の一括質問一括答弁方式を選択できるようにします。

新方式での6月議会をぜひご覧ください。